

## 第5学年 図画工作科

### 教科目標

- ① 創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにします。
- ② 材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにします。
- ③ 親しみのある作品などから、よさや美しさなどを感じ取るとともに、それらを大切にするようにします。

### 学習計画

月	単元・題材名	時数	学 習 活 動
4	○ よくみて描こう(絵)	3	・ 鏡を見ながら自画像をかく。
5	○ 原爆ドームのある風景 (絵)	6	・ 感じたことが伝わるよう表現方法を工夫してかく。
	○ 板を切りぬいて(作)	6	・ 電動糸のこぎりを使って、楽しく遊んだり飾ったりするものをつくる。
6	○ え？名前で絵(絵)	2	・ 名前の文字をもとに発想を広げ、形や色をくふうして絵に表す。
7	○ 気持ちを表す形や色(絵)	2	・ 自分の気持ちを形や色で表すことを楽しみ、効果的に表現する。
9	○ 楽しく美しく伝えよう(作)	6	・ 伝えたいことの内容に合わせ、表現方法を工夫して掲示物をつくる。
10	○ アレッ？コレ、ナニ？(造)	5	・ 場所との関係を考えながら、意外性のあるものをつくる。
11	○ アニメーションをつくろう(作)	4	・ 動きが連続して見える仕組みを使って、楽しい作品をつくる。
	○ 想ぞうのつばさ広げて(絵)	6	
12	○ 不思議な絵(鑑)	2	・ 自分が感じた雰囲気が伝わるように、心ひかれた物語の場面を絵に表す。
	○ 刷り重ねて表そう(絵)	6	・ 不思議に見える表現があることに気がつき、その面白さを味わう。
1			・ 彫ったり刷ったりしながら、線や色の調子や重なりをたしかめて、多色木はんんに表す。
2	○ アートレポーターになって(鑑)	2	・ 表された内容を読み取り、自分の考えを文章にまとめる。
3			
授 業 時 数 の 合 計			5 0 時 間

### 図画工作科の評価

観 点	評 価 基 準	評 価 方 法
造形への関心・意欲・態度	自分の思いをもって表現したり、鑑賞したりしながら、つくりだす喜びを味わおうとしているかどうかという観点から見ます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習態度</li> <li>・ 準備・片付けの様子</li> <li>・ 製作過程</li> <li>・ 用具の扱い</li> <li>・ 材料の収集</li> <li>・ 作品</li> <li>・ 鑑賞カード など</li> </ul> 総合的に評価します。
発想や構想の能力	感じたことや見たこと、材料や場所などの特徴を基に表したいことを思い付いたり、形や色、用途や構成などを考えたりしているかどうかという観点から見ます。	
創造的な技能	感覚を働かせたり経験を生かしたりしながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、様々な表し方を工夫しているかどうかという観点から見ます。	
鑑賞の能力	親しみある作品などの形や色などから、表現の意図や特徴をとらえたり、よさや美しさを感じ取ったりしているかどうかという観点から見ます。	